

# 小児科専門研修プログラム

## 小児科医としてのキャリアパスを支援します

これから小児科医としての道を歩もうとするみなさんにとって、2年間の初期研修を修了した後3年間の専門研修をどこで行うかは大変重要な選択であると思います。

当院小児科では、幅広い一般小児診療・新生児医療において豊富な症例を経験していただけるような後期研修プログラムを用意しています。小児一般診療では、プライマリケアから二次・三次医療、時には珍しい疾患まで、また在宅医療も含めて経験することが出来ます。NICUでは尾張東部地区の地域周産期母子医療センターとして24時間体制で新生児医療を精力的に行っており、重症新生児仮死に対する低体温療法や新生児遷延性肺高血圧症に対するNO(一酸化窒素)吸入療法などの高度医療も提供しています。

研修中に医学的に有意義と思われる症例を経験できれば、研究能力を磨くための最初のステップとして学会発表も行ってもらいます。また、外来業務として乳児健診や予防接種外来、神経・発達・循環器・アレルギー・内分泌などの専門外来を行っており、サブスペシャリティを選択していくための素地を作っていくことも可能です。

今後みなさんがキャリアをさらに磨いていくための基礎固めができるよう、指導していきたいと考えています。



主任部長 森下 雅史

## 本プログラム概要

「公立陶生病院小児科専門研修プログラム」は、地域基幹病院である公立陶生病院を主体とし、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、あいち小児保健医療総合センターを連携施設とするプログラムです。

専門研修の1・2年目は公立陶生病院において「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。当院では小児一般診療と新生児医療の2チーム編成で、双方をローテイトしつつ多くの症例経験を積んでいきます。

専門研修3年目の6ヶ月は連携施設での研修となり、当院では経験が難しい小児血液・腫瘍疾患、稀な小児神経疾患、小児外科疾患を経験して頂くことになります。希望により3ヶ月間、あいち小児保健医療総合センターで腎疾患・膠原病・PICUなどの研修を行うこともできます。

また公立陶生病院は、周産期専門医指定研修施設、アレルギー専門医教育研修施設(小児科)にも認定されており、小児科専門医取得後にさらなる高みを目指してサブスペシャリティ研修を行うことも可能です。

## 診療実績

		2017年	2018年	2019年
救急外来受診者数		2495	2492	2470
救急外来入院数		623	627	742
総入院数		1449	1547	1631
呼吸器	気管支炎・肺炎	306	268	353
	気管支喘息	102	116	92
消化器	胃腸炎	138	145	151
	腸重積	2	8	5
神経	熱性けいれん	26	34	48
	てんかん	25	14	20
	脳炎・脳症	1	3	4
	無菌性髄膜炎	6	3	2
循環器	先天性心疾患	8	7	5
	川崎病	26	28	29
腎疾患	尿路感染症	20	14	23
	ネフローゼ症候群	1	11	0
その他	食物経口負荷試験	233	239	224
NICU	入院数	147	191	163
	極低出生体重児	6	6	4
	出生体重<1500g			
	人工呼吸管理症例	43	45	45

## 連携病院

名古屋大学医学附属病院・名古屋市立大学病院・あいち小児保健医療総合センター

## 小児科の風景



NICU  
スタッフ



小児病棟

ハロウィンイベント

たけのこの会

NICU 卒業生の集い



## 専攻医からのメッセージ

私は初期研修終了後に当院に赴任し、新たな環境で小児科専門研修を開始しました。慣れない環境での専門研修に困難も多々ありましたが、熱心に指導して下さる先輩方、心強い研修の仲間たちに助けられ、日々診療に励んでいます。

当院では、新生児分野から一般小児科分野まで、またプライマリケアから2次、3次医療まで、幅広い症例をバランス良く経験することができます。病棟業務、外来業務を通して様々な common disease を担当し、時には集中治療を要する重症例に立ち向かうことや、珍しい症例に頭を悩ますこともあります。また、在宅診療に携わり、重症心身障害児の暮らしを支える役割も担います。あらゆる診療に主体的に取り組み、自ら考え、悩みながら子どもたちと向き合う中で、日々成長を実感しています。様々なサブスペシャリティ分野の先生方に指導していただく機会もあり、症例の相談などを通して学びを深めると同時に、キャリア形成に向けたイメージもつかみやすくなります。学術面でのサポートもあり、学会発表や論文執筆などにも積極的に取り組むことができます。

小児科を目指す皆さん、ぜひ当院小児科に足を運んでみてください。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。